

地震報告

明治四十二年 第一號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	震動年月日ノ	震動時間ノ	震動方向ノ	震動強弱ノ	震動性質ノ	雜記	報告者住所姓名
		年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	北北東、東南、南、南 西、西北、西ノ八方位 ニ分記スヘシ	微弱、強、烈ノ四種ニ 分記スヘシ	水平動、上下動、聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩タルモルヲ シヘス入記	
北		明治四十二年一月二十日午後九時三十分三十五秒	四十五秒	不明	微	上下動、聲響アリ	人件ニ感覚アリ	國郡
								町

町

地震報告

明治四十二年 第二號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

名北

震動年月日時
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年一月三十一日午後三時三十七秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

二分三十四秒七

震動方向
北北東、東、南東、南、
西、西北、北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微

震動性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

極微上下動アリ

雜記
前項ニ洩タルモルヲ
ノヘス入記

人々ニ感覺アリ

報告者住所姓名

國郡

町村

名古川縣

震 第 三 十 一 号

地震報告

明治四十二年 第三號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記		報告者住所姓名
						前項ニ洩シ入レタルモノ	ノ記	
地	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東、東南、南、南西、西北、西、北、方位ニ分記スヘシ	微弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動壁響ノ有無ヲ記スヘシ	名震ニ起リ初メ微動ト認メキモナリ主ニ主要動ヲ示シ其振幅ハ三兆主要動平均周期一秒四延度時間ニ六秒ヲ経テ漸次靜止ス		國郡
北	明治四十二年一月八日午後一時三十分三秒	二分三秒	不詳	微	本急テレト人仲感覺アリ			岩手縣奥平町

地震報告

明治四十二年 第 四 號

地名	地震ニ感ゼシ地名 ヲ記スヘシ	震動ノ年月日時 年 月 日 時 分 秒 記スヘシ(標準時)	震動ノ時間 震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	震動ノ方向 北北東、東南、東南南、 西、西北、西ノ八方位 ニ分記スヘシ	震動ノ強弱 微弱、強、烈ノ四種ニ 分記スヘシ	震動ノ性質 水平動、上下動、聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	雜記	
							前項ニ洩タルモルヲ ノ入記	記
台北		明治四十二年一月十四日午前十一時三十分十七秒	十五分十七秒	不明	微	極微、後、優、七、十、秒、人、作、感、覺、シ	後、優、七、十、秒、始、り、度、震、り、七、十、秒、後、テ、主、要、動、ト、ナ、リ、大、振、幅、 ニ、秒、ニ、付、三、八、秒、ヲ、主、要、動、ト、ナ、リ、七、十、秒、時、ニ、後、續、ク、後、續、ク、微、 動、ト、ナ、リ、漸、ク、静、止、ス	

報告者住所姓名

國 郡

台北廳候下

地震報告 明治四十二年 第五號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記	
						前項ニ洩タルモルヲシヘス入記	報告者住所姓名
五ヶ	明治四十二年一月三日午前十一時五分五秒	十八分二十五秒	北北東、東南、西南、西、西北、西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	初斯微動 十九秒 短時間 主要動 十一秒 二二秒 三三秒 四四秒 五五秒 六六秒 七七八秒 八八九秒 九九秒 十秒 十一秒 十二秒 十三秒 十四秒 十五秒 十六秒 十七秒 十八秒 十九秒 二十秒 二十一秒 二十二秒 二十三秒 二十四秒 二十五秒 二十六秒 二十七秒 二十八秒 二十九秒 三十秒 三十一秒 三十二秒 三十三秒 三十四秒 三十五秒 三十六秒 三十七秒 三十八秒 三十九秒 四十秒 四十一秒 四十二秒 四十三秒 四十四秒 四十五秒 四十六秒 四十七秒 四十八秒 四十九秒 五十秒 五十一秒 五十二秒 五十三秒 五十四秒 五十五秒 五十六秒 五十七秒 五十八秒 五十九秒 六十秒 六十一秒 六十二秒 六十三秒 六十四秒 六十五秒 六十六秒 六十七秒 六十八秒 六十九秒 七十秒 七十一秒 七十二秒 七十三秒 七十四秒 七十五秒 七十六秒 七十七秒 七十八秒 七十九秒 八十秒 八十一秒 八十二秒 八十三秒 八十四秒 八十五秒 八十六秒 八十七秒 八十八秒 八十九秒 九十秒 九十一秒 九十二秒 九十三秒 九十四秒 九十五秒 九十六秒 九十七秒 九十八秒 九十九秒 一百秒	報告者住所姓名

地震報告

明治四十二年 第六號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	震動年月日ノ時	震動ノ時間	震動ノ方向	震動ノ強弱	震動ノ性質	雜記		報告者住所姓名
							前項ニ洩タルモノヲ入記スヘシ	前項ニ洩タルモノヲ入記スヘシ	
台		明治四十二年一月二十五日午後一時三十分	七秒二十五秒		微弱	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	初斯微動 主要動 三秒	初斯微動 主要動 三秒	國郡 町地 柳田候所
明		明治四十二年一月二十五日午後一時三十分	七秒二十五秒		微弱	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	初斯微動 主要動 三秒	初斯微動 主要動 三秒	國郡 町地 柳田候所
台		明治四十二年一月二十五日午後一時三十分	七秒二十五秒		微弱	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	初斯微動 主要動 三秒	初斯微動 主要動 三秒	國郡 町地 柳田候所



地震報告

明治四十二年 第 七 號

地名 地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ

臺北

震動年月日時 年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年三月三十日午後五時三十分十二秒

震動時間 震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分五十三秒 (地動計ニヨル)

震動方向 北北東、東南東、南南
西、西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

震動強弱 微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺ナシ)

震動性質 水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並ニ聲響有ナシ

雜記 前項ニ洩レタルモ
ルヲノモルシヘス入記

性質稍急ニ極微ノ地震ナリシ

地動計觀測

極ノ細微ニテ波動ニシテ總震動時間一分五十三秒及
初期微動約十秒、外各種ノ波動ヲ識別ス能ハス

報告者住所姓名 國 郡 村町 番地 臺北測候所

地震報告

明治四十二年 第七、二號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日ノ
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年四月二日午後七時五十分四秒

震動時間ノ
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分四十六秒

地動計ニ記ス

震動方向ノ
北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱ノ
微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人休ニ感覺ナシ)

震動性質ノ
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並ニ聲響ナシ

雜記

前項ニ洩タルモルヲ
シヘス入記

地動計觀測

性質稍大極微、波初ニ觀測ス

報告者住所姓名

國郡

町村

番地

臺北測候所

地震第一卷

地震報告

明治四十二年 第八號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	震動年月日ノ	震動時間ノ	震動方向ノ	震動強弱ノ	震動性質ノ	雜記
		年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	北北東、東南、東南南、 西、西北、西ノ八方位 ニ分記スヘシ	微弱、強、烈ノ四種ニ 分記スヘシ	水平動、上下動、壁響 ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩レタルモルヲ ノヘス入記
臺北		明治四十二年四月四日午後零時十八分五秒	二分十四秒(地動計ニ依ル)	不詳	微(人體感覺ナシ)	上下動ニ声加音ナシ	地動計觀測 性質稍急ナル極微、波動ヲ觀測ス

報告者住所姓名

國郡

村町

番地

府臺北
則候所印

地震報告

明治四十二年 第 九 號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日時

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年四月五日午前三時十九分五十分

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分十九秒 (地震計ニ依ル)

震動方向

北北東、東、南、東南、南、西、西北、西、ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺ナシ)

震動性質

水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動、声響ナシ

雜記

前項ニ洩タルモノ
ヲ入記スヘシ

地震計觀測
性質稍急ナル極微、波動ヲ觀測ス

報告者住所姓名

國

郡

町

番地



地震報告

明治四十二年 第十號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
						前項ニ洩タルモルヲシヘス入記
臺北	明治四十二年四月八日午後六時五十分三十六秒	十二分三十三秒	不詳	微(人體感覺ナシ)	上下動並ニ聲響ナシ	地動計觀測 初期微動 十二秒 主要動 二分四十五秒 終期微動 九分三十六秒 性質稍急ニ極微ノ地動ニテ長大振幅平均四期等ヲ知能ス

報告者住所姓名

國郡

村町番地 台北測候所

地震報告

明治四十二年 第十一號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年四月八日午後七時十四分十四秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

二分十七秒

(地動計ニ)

震動方向
北北東、東南、東、南、南
西、西北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱ノ強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体感覺ナシ)

震動性質
水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並聲響ナシ

雜記
前項ニ洩タルモルヲ
シヘス入記

地動計觀測
性質急激極微波動ヲ觀測ス

報告者住所姓名

國郡

村町

番地 台北測候所

地震報告

明治四十一年 第十一號

報告者住所姓名	國郡町村	番地	記		地震ノ性質	地震ノ強弱	地震ノ方向	地震ノ時間	地震ノ年月日時	地名
			前項ニ洩タルモルヲ	記入スヘシ						
			地震計觀測 性質稍急ニ極微ノ波動ヲ觀測ス		水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	北北東東南東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	地震ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
			明治四十二年四月九日午前七時十五分三十四秒				不詳	二分十八秒		臺北
			(地震計見)			微(人休ニ感覺ナシ)				
			上下動並ニ聲響ナシ							

臺灣
第一
八
六
號

地震報告

明治四十二年 第十三號

報告者住所姓名	地名	震動年月日時及分秒 ノ 記スヘシ (標準時)	震動時間 ノ 終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	震動方向 ノ 北東東南西南 西北北西ノ八方位 ニ分記スヘシ	震動強弱 ノ 微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	震動性質 ノ 水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	雜記
							前項ニ洩タルモノ ノ入記スヘシ
國郡町村	臺北	明治四十二年四月十日午後十一時五分五秒	一分五十六秒	不詳	微(人體感覺アリ)	上下動並ニ聲響ナシ	戸障子鳴ル 地動計観測 初期微動ト認めタキ性質急ニ極微ノ波動ナリ
番地	臺北測候所		(地動計見)				

地震報告

明治四十二年 第十四號

地名

臺北

震動年月日時

明治四十二年四月十日午後十一時四十八分五秒

震動時間

一分五十一秒

(地動計ニ見)

震動方向

不詳

震動強弱

微(人體感覺ナシ)

震動性質

上下動並聲響ナシ

雜記
前項ニ洩タルモルヲ
記入セス

地動計觀測
性質稍急ナル極ニ細微波動ニテ總震動時間
一分五十一秒中初期微動約九秒外各種ノ波動
ヲ識別スル能ハズ

報告者住所姓名

國郡

町

番地

臺北測候所

震
第
一
八
九
号

地震報告

明治四十二年 第十五號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	年月日 年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	震動ノ 時間	震動ノ 方向	震動ノ 強弱	震動ノ 性質	雜記		報告者住所姓名
							前項ニ 洩タルモ シヘス入記	記	
臺北		明治四十二年四月十五日午前三時五十四分〇六秒	三分	北東—南西	強	上下動アリシニ聲響アリシ	性質稍急ニ初期微動ニ起リ七八秒ヲ經テ主要動ヲ四波目ニ於テ(桑震時ヲ十秒)方向北東—南西ニテ全通朗ニ二秒ヲ三六秒ノ最大振幅ヲ示シ初震ヲ四七秒間ニ震動著大ニテ其ノ漸次微小トナリ終震動時 間約五分ニテ静止上下動ノ性質急ニ震動ニ初十秒後急ニ振幅ヲ増大シ 示針就表紙外ニ逸出ス者九附近ニ各地ニ於テ極ニ粗造ニ家屋潰倒又破損セシ 數十戸死者九傷者十數名アリテ報セリ(被害ノ詳細ハ調査中)		國 郡 村町 番地 台北測候所

震
第
一
八
四
九
號

地震報告

明治四十二年 第十六號

報告者住所姓名	地名	年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
							前項ニ洩シ入ルモノノモルタルシヘス記
	臺北	明治四十二年四月十五日午前七時二十分四十七秒	一分三十七秒 (地震計ニ)	不詳	微弱 (人體感覺ナシ)	上下動並ニ聲響ナシ	地震計觀測 細微ニ波線ノ痕跡ヲ示ス

報告者住所姓名

國郡

村町

番地

台北測候所

地震報告

明治四十二年 第十七號

地名	年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記	報告者住所姓名
						前項ニ洩タルモノヲ入シ	
臺北	明治四十二年四月二十日午前十一時五十分五十八秒	一分五十九秒 (地動計ニ見)	不詳	微弱 (人付ニ感覺ナシ)	上下動並ニ聲響有リ	地動計觀測 細微ニ改竄痕跡ヲ示ス	國郡村町番地 台北測候所

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北城內

震動年月日時
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

五月十一日午前零時一分二十九秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

五十秒

震動方向
北北東、東、南、東、南、南、
西、西北、北、西、北、西、
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微人體ニ感覺アリ

震動性質
水平動、上下動、墜響
ノ有無ヲ記スヘシ

稍急ナル手動、細微ナル波線ヲ感シモ、
聲響アリ

雜記
前項ニ洩シタルモ
シヘス入記

發震ヨリ三秒、後稍著明ナル震動ヲ呈セシセ、
漸次靜止ス、
地震計觀測
直ニ主要動ヲ示シテ、後終期微動トナリ、
振動時間一分二十秒ニシテ、
靜止ス(最大振幅〇六釐)

報告者住所姓名

國郡

町村

臺北地測候所

臺北地測候所印

地震報告

明治四十二年 第十九號

地名	震動年月日時及分秒 ナ記スヘシ 地震ニ感セシ地名	震動時間 地震ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	震動方向 北北東、東南、東南南、 西、西北、西ノ八方位 ニ分記スヘシ	震動強弱 微弱、強、烈ノ四種ニ 分記スヘシ	震動性質 水平動、上下動、聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	雜記 前項ニ洩レタルモルヲ 前項ニ入ルヘシ	
						地震計觀測	
老室北	明治四十二年五月十一日午前零時四十分十三秒	十四分二秒	不詳	微々々々感覺ナシ	上下動並聲響ナシ	緩慢に波線ヲ示セルニ 初期微動 第一 四十二秒 第二 一分三秒 第三 一分八秒 第四 二分五秒 第五 二分五秒 第六 二分五秒 第七 二分五秒 第八 二分五秒 第九 二分五秒 第十 二分五秒 終期微動	平均週期 最大振幅 全上週期 二六秒 〇三秒 八二秒 五六秒 〇三秒 八二秒

報告者住所姓名

國郡

村町

番地

台北測候所

地震報告

明治四十二年 第二十號

地名 地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ
臺北

年月日時 年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)
明治四十二年五月十七日午後零時五十分二十七分

震動時間 震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ
一分十一秒
(地動計観)

震動方向 北北東、東南、東南南、西北、西北ノ八方位ニ分記スヘシ
不詳

震動強弱 微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ
微人体ニ感見ナシ

震動性質 水平動、上下動、壁響ノ有無ヲ記スヘシ
上下動並聲響ナシ

雜記 前項ニ洩タルモルヲノシヘス
地動計観測
性質稍急ニ極微ノ波動ヲ観測ス

報告者住所姓名 國 郡 村町 番地
臺北測候所

地震報告

明治四十二年 第二十一號

地名 地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ
臺北

震動年月日ノ 年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)
明治三十五年五月十七日午後四時三十九分三十五秒

震動時間ノ 震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ
二分十秒
(地動計ニヨリ)

震動方向ノ 北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ
不詳

震動強弱ノ 微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ
微一人傳ニ感覚ナシ

震動性質ノ 水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ
上下動並ニ聲響有リ

雜記 前項ニ洩タルモルヲ
シヘス入記
地動計觀測
初期微動 二十秒
主要動 二十秒
終期微動 二十秒
最大振幅 (0.3秒)
性質稍急ナル極微ノ地震ナリ

報告者住所姓名 國 郡 村町 番地
臺北測候所

地震報告

明治四十二年 第二十二號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日ノ
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年五月十七日午後七時三十分至四十分

震動時間ノ
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

五十五秒

(地動計ニ見)

震動方向ノ
北北東、東南東、南南
西、西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱ノ
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人感感覺ナシ)

震動性質ノ
水平動上下動壁響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並ニ聲響有ナシ

雜記
前項ニ洩タルモルヲ
シヘス入記

地動計観測

性質稍急ト知微ノ波動ヲ観測ス

報告者住所姓名

國郡

村町

番地

台北測候所

明治四十二年 第二十三號



地震報告

明治四十二年 第二十四號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十一年五月二十日午前六時十七分二秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分五秒

(地動計ニ入)

震動方向

北北東、東、南東、南、南西、西北、西、北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺ナシ)

震動性質

水平動上下動墜響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並ニ墜響有ナシ

雜記

前項ニ洩タルモノ
ヲ入シヘス

地動計觀測
細微ニ波線ノ痕跡ヲ示ス

報告者住所姓名

國

郡

村町

番地

臺北測候所

地震報告

明治四十二年 第二十五號

地名 地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ
臺北

震動年月日ノ 年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)
明治四十二年五月廿三日午後零時五十六秒四秒

震動時間ノ 震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ
一分二秒
(地震計見)

震動方向ノ 北北東、東、南東、南南
西、西北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ
不詳

震動強弱ノ 微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ
微(人体ニ感覺ナシ)

震動性質ノ 水平動、上下動、墜響
ノ有無ヲ記スヘシ
上下動並ニ墜響百ナシ

雜記
前項ニ洩タルモノヲ
入記スヘシ
地震計觀測
性質稍急ニ極微ノ波動ヲ觀測ス

報告者住所姓名
國 郡 村町
番地
台北測候所

地震報告

地名		地震ニ感ゼシ地名 ヲ記スヘシ
臺北		
震動年月日時	震動年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	明治四十二年五月廿三日午後六時四十分三十七秒
震動時間	震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	三分十二秒
震動方向	北北東、東、南東、南、南西、西北、西ノ八方位 ニ分記スヘシ	南東―北西
震動強弱	微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	弱(弱キ方)
震動性質	水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	上下動アリシ聲響日ナシ
雜記	前項ニ洩タルモルヲ シヘス入記	家屋動搖シ時計止ル 初震ヨリ五七秒後震動著大トナリ發震時ヨリ三四秒ハシ經テ南東―北西ニ向ケテ六秒時 ニ付二〇秒最大振幅ヲ示ス以後三秒間震動著明ナリ其初ニ水平動最大ト振テ周時 ニ〇七秒最大振幅ヲ示ス 地動計觀測 初期微弱動十六秒主要動一分五十五秒終期微弱動十六分八秒最大 振幅二五秒 性急ニテ周期ヲ知ルハズ
報告者住所姓名		
國郡		
町		
番地		
台北測候所		

地震報告

明治四十二年 第二十七號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年五月十四日午後七時三十分三十六秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

約三十八秒

(地動計ニ見)

震動方向

北北東、東南、西南、
西、西北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微人傳ニ感覺ナシ

震動性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並聲響有ナシ

雜記

前項ニ洩タルモルヲ
記入スヘシ

地動計觀測

初期微動十三秒

主要動二十七秒

終期微動一分五十八秒

性質稍急ナル極微地震ナリ

李於周氏

一七秒

吳天順氏

〇・〇七秒

報告者住所姓名

國郡

村町

番地

台北測候所



地 震 報 告

明治四十二年 第二十八號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
						前項ニ洩タルモノノ入記
臺北	明治四十二年五月二十五日午前三時三十三分三十二秒	一分三十三秒	不詳	微弱	上下動	地震計観測 初期微動 十三秒 主要動 二十六秒 終期微動 四十六秒 性質稍急な揺れ地震計

報告者住所姓名

國 郡

村 町

番地

台北測候所



此 震 聲 告

地震報告

明治四十二年 第二十九號

地名

臺北

震動年月日時

明治四十二年五月二十五日午前九時三十分三十分

震動時間

分三十九秒

(地震計三見)

震動方向

不詳

震動強弱

微(人体に感ぜず)

震動性質

上下動並聲細音ナシ

前項ニ洩タルモノノ入記

地震計観測

初期微動 十三秒
主要動 二十六秒
終期微動 一分〇秒
性質稍急ナ極微(地震ナシ)

報告者住所姓名

國 郡

村町

番地

台北測候所



地震報告

明治四十二年 第三十號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年二月午後九時五十六分十秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分二十二秒

(地動計ニ元)

震動方向

北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(一休感覺ナシ)

震動性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並聲響有ナシ

地動計觀測

Words

細微な波動、痕跡ヲ示スノミ

雜記

前項ニ洩タルモノ
ヲ入シヘス

報告者住所姓名

國

郡

町

番地

臺北測候所



地震報告

明治四十二年 第三十一號

地名	震動年月日	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記	
	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東東南東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱、強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩レタルモノヲノモルシヘス入記	
臺北	明治四十二年六月十二日午後六時三十四分三十五秒	七分三十五秒	不詳	微(人休感覺ナシ)	上下動並聲響自ナシ	地點計観測 初期微動 三十五秒 主要動 三十三秒 終期微動 六分三十七秒 性質稍急に極微地震ナリ	報告者住所姓名 國郡町村 番地 臺北側候所

地震報告

明治四十二年 第三十二號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	年月日時及分秒 ノ 記スヘシ(標準時)	震動ノ 時間	震動ノ 方向	震動ノ 強弱	震動ノ 性質	雜記		報告者住所姓名
							前項ニ洩レタルモノ ヲ入記スヘシ		
臺北		明治四十二年三月十六日午前九時三十五分五秒	五分十秒	不詳	微弱(人體ニ感スヘシ)	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	地動計觀測 初期微動十四秒 主要波三十五秒 終期微動四十分五秒 性質稍急大振幅地震ナリ	臺灣總督府 臺北測候所	國郡村町番地 臺北測候所

地震報告

明治四十二年

第三十三號

地名

地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日

年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)

明治四十二年六月十七日午前五時四十六分三秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動ノ終マデノ時及分秒ヲ記スヘシ

五十三秒

(地動計三三)

震動方向

北、北東、東南、東、南、南西、西北、西ノ八方位ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ

微(人体ニ感見ナシ)

震動性質

水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ

水平動、聲響ナシ

雜記

前項ニ洩タルモノヲノシヘシ入記

地動計觀測

細微ナル振動ヲ示ス

報告者住所姓名

國郡

村町

番地 臺北西候所



地震報告

明治四十二年 第三十四號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	震動ノ年月日時	震動ノ時間	震動ノ方向	震動ノ強弱	震動ノ性質	雜記 前項ニ洩タルモノ ヲ入記スヘシ
		年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	北北東東南東南南 西西北西ノ八方位 ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	
吉屋北		明治四十二年六月二十三日午後七時五十七分二十四秒	十分三秒	不詳	微(人体ニ感覺ナシ)	水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	地動計觀測 初期微弱 主沙 主要動二分十三秒 終期微弱七分五十七秒 最大振幅 〇・一七秒 性質 急激微、地震ニシ其周囲等ヲ知ル能ハス

報告者住所姓名

國郡

町

番地 臺北測候所



地震報告

明治四十二年 第三十五號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	年月日時及分秒 ノ 記スヘシ(標準時)	震動ノ 時間	震動ノ 方向	震動ノ 強弱	震動ノ 性質	雜	記
							前項ニ 洩タル ノモル ヲ記ス ヘシ	記
臺北		明治四十二年六月廿四日午前五時四十八分十四秒	五分十八秒	不詳	微弱	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	地帯計観測 性質稍急尤極微 地震ノ痕跡ヲ止ム	

報告者住所姓名

國郡

町村

番地 臺北 西條 水



地震報告

明治四十二年 第三十六號

地名 地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ
臺北

年月日 年月日時及分秒
記スヘシ(標準時)
明治四十二年六月二十六日午前一時十分五十六秒

震動ノ時間 震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ
四分三十秒、二
(地震計ニヨル)

震動ノ方向 北、北東、東南、南、南西、西、西北、北ノ八方位ニ分記スヘシ
不詳

震動ノ強弱 微弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ
微(人体ニ感覺ナシ)

震動ノ性質 水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
上下動並ニ聲響ナシ

雜記
前項ニ洩タルモノヲ
記スヘシ
地震計觀測
初期微動 十秒、一
主要動 一分三秒八
終期微動 一分五秒三
平均週期 二秒
最大振幅 〇.五秒
全週期 六.五秒
性質 大振幅、地震ナリ

報告者住所姓名
國 郡 村町
番地 臺北測候所

明治四十二年 第三十七號

所 增

此處ニ烈チシ地震

地震報告

地震報告

明治四十二年 第三十八號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年六月二十七日午前八時七分三十八秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

二分九秒

震動方向

北北東、東、東南、南、南西、西北、北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人休ニ感覺ナシ)

震動性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並ニ聲響ナシ

雜記
前項ニ洩タルモノ
ヲモルタルヲ入記ス

細微ナル極微ノ地震ナリ

報告者住所姓名

國郡

町村

番地 臺北測候所



地震報告

明治四十二年 第三十九號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	震動ノ年月日	震動ノ時間	震動ノ方向	震動ノ強弱	震動ノ性質	雜記	報告者住所姓名
		年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東、東、南東、南、西、西北、北、西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩レタルモルヲシヘス記	
臺北		明治四十二年六月二十八日午後十一時八分十三秒	十三分十八秒七	不詳	微(人休、感覺ナシ)	卡動並聲響ナシ	地震計觀測 初期微動 一四六秒 主要部 三四二秒 終期微動 五三一秒 性質稍急大極微、地震ナシ	國郡村町番地 臺北測候所



地震報告

明治四十二年 第四十號

明治四十二年 第三十八號

地名 地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ
臺北

震動年月日時 年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)
明治四十二年七月廿午後八時三十分至九分

震動時間 震動ノ初ヨリ震動ノ終マデノ時及分秒ヲ記スヘシ
一分三十分

震動方向 北、北東、東、南東、南、西、西北、北、西ノ八方位ニ分記スヘシ
不詳

震動強弱 微弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ
微(人体感覺アリ)

震動性質 水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ
上下動並ニ聲響ナシ

雜記 前項ニ洩タルモルヲノシヘス入記
地震計觀測
津波急カ極微ノ波動ヲ觀測ス

報告者住所姓名

國郡

村町

番地 臺北測候所



地震報告

明治四十二年 第四十一號

地名	震動年月日	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東東南東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩タルモルヲ入記シ
臺北	明治四十二年七月十日午前零時四十七分三十二秒	一分二十三秒	不詳	微(人體ニ感ぜられ)	ホラホラと聲響あり	地震計觀測 極微茫地震痕跡ニ止る

報告者住所姓名

國郡

町

番地

臺北測候所

地震報告

明治四十二年 第四十二號

地名 地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ
臺北

震動年月日ノ 年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)
明治四十二年七月廿四日午前五時六分七秒

震動時間ノ 震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ
十分五十二秒一
(地震計ニヨル)

震動方向ノ 北北東東南東南南
西北北西ノ八方位
ニ分記スヘシ
不詳

震動強弱ノ 微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ
微(人体ニ感覺アリ)

震動性質ノ 水平動上下動壁響
ノ有無ヲ記スヘシ
上下動アリ 聲響有リ

雜記 地震計觀測
初期微動 九三秒 平均通期 最大振幅 全通期
主要動 三二秒 一六秒
ナニ 四八八秒 一四秒
ナニ 二九九秒 一七秒
終期微動八分五三〇秒
性質稍急ナル地震ニシテ終期微動震動中五時三十分六秒より九分九秒間終急ナル
極微動ナル波ヲ現出ス

報告者住所姓名 國 郡 村町 番地
臺北測候所



地震報告

明治四十二年 第四十三號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年七月二十五日 午前三時三十分六秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分十五秒

(地動計ニヨリ)

震動方向
北北東東南東南南
西(西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ)

不詳

震動強弱
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺アリ)

震動性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並聲響有リ

雜記
前項ニ洩タルモノ
ヲ入記スヘシ

地動計觀測

性質急激極微ノ地震ニシテ初期微動ト認め可キモノナリ
直々ニ主要動(最大振幅ノ一振)ヲ示スモ振幅細微ニシテ
ソノ周期等ヲ知ル能ハズ

報告者住所姓名

國郡

村町

番地

台北測候所



地震報告

明治四十二年 第四十四號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記	報告者住所姓名
						前項ニ洩タルモルヲ入シヘス記	
臺北	明治四十二年七月二十五日午後六時四十七分十三秒	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東東南東南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	地動計観測 細微な波動、痕跡を示すこと	國 郡 村町 番地 台北國候所



此書
明治四十二年
第四十五號

地震報告
明治四十二年 第四十五號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治三十二年八月廿午前一時四十九分三十九秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

二分五秒二

(地動計三)

震動方向
北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人等ニ感覺アリ)

震動性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

雜記
前項ニ洩タルモノ
ヲモルタルヲ入記ス

地動計觀測
初期微動 八二秒
主要動 一六二秒
終期微動 八秒
平均週期 最大振幅
〇五秒 〇二二秒
性急七秒微、地震震子

報告者住所姓名

國

郡

町

番地 臺北測候所



地震報告

明治四十二年

第四十六號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年八月十日午前九時五十九分十四秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分三秒六分五

(地動計ニ元)

震動方向
北北東、東、南東、南、
西、西北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微一人傳ニ感覺ナシ

震動性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上部並聲響目ナシ

雜記

前項ニ洩タルモノ
ヲ入シヘス

地動計觀測

細微七次部ノ痕跡ヲ示ス

報告者住所姓名

國

郡

町

番地

台北測候所

地震報告

明治四十二年

第四十七號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

台北

震動年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年八月十三日午後八時十分五十二秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

五十八秒

(地震計三三)

震動方向

北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人休ニ感覺ナシ)

震動性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動聲響皆ナシ

雜記

前項ニ洩レタルモノ
ヲ入記スヘシ

地震計觀測
性質爲タル極微地震ニテ僅カニ細微ナル波動ヲ示スノミ

報告者住所姓名

國

郡

町村

番地

台北測候所

所

報告者住所姓名	地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
		年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東東南東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩シ入記
國郡村町番地	台北	明治四十二年八月十九日午前九時十分三十四秒	二分四秒	不詳	微(人体感覺ナシ)	卡動並、聲響ナシ	世郭計觀測 初期微動 八秒 主要動 二七秒 終期微動 分三十九秒 性質急激、極微ノ地震ニシ其ノ週期等ヲ知ル能ハス

台北觀候所

地震報告

明治四十二年

第四十九號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

台北

年月日時

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年九月十五日午前四時一分三十分

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

四十六秒大

(地動計ニ見)

震動方向

北北東東南東南南
西西北北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱(強烈ノ四種ニ
分記スヘシ)

微(人体ニ感覺ナシ)

震動性質

水平動(上下動)壁響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下並ニ聲響ナシ

雜記

前項ニ洩タルモノ
ヲノモルタレシハ入記

地動計観測
若明主脈動出現中僅カニツノ痕跡ヲ見ナシ

報告者住所姓名

國

郡

村町

番地

台北測候所

地震報告

明治四十二年 第五十號

地名

台北

震動年月日

明治四十二年九月十七日午後一時三十分十八秒

震動時間

四分二十七秒二

震動方向

不詳

震動強弱

微一人体に感ぜられ

震動性質

卡動聲響等ナシ

雜記
前項ニ洩タルモノ
ノモルハスニ記

地震計観測
初期微動 一、二秒、
主要動 二分三、九秒、
終期微動 二分五、一、
世襲箱急に揺れ、地震ナリ
平均周期 四、六秒
最大振幅 〇、一六秒

報告者住所姓名

國郡

村町

番地

台北測候所



地名	震動年月日	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
						前項ニ洩タルモノヲ入シ
臺北	明治四十二年九月二十日	午前五時四十分至九時	不詳	微弱	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	地動計觀測 僅カニ細微ナル波線ヲ示スニ

報告者住所姓名

國

郡

村町

番地

臺北測候所



地震報告

明治四十二年 第五十二號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
						前項ニ洩タルモノヲ入シヘス記
臺北	明治四十二年九月二十日午前十時五十二分三十六秒	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東東南東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	地動計能測 初期微弱 主震中等 後期微弱 全十回 性急ナル極微地震ナリ

報告者住所姓名

國郡

町

番地

臺北測候所



地 震 報 告

明治四十二年

第五十三號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日時
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年九月二十九日午後九時五十分〇七秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
秒ヲ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

七分四十六秒八 (地動計ニ據ル)

震動方向
北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

弱(震度弱キ方)

震動性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動光ニ聲響者ナシ

雜記
前項ニ洩タルモル
ヲノモルシハス入記

地動計觀測

初期微動

一二七秒

平均週期

〇・七五秒

最大振幅

1

主要動

第一 一三六秒
第二 二五二秒
第三 三三六秒

月

〇・八〇秒

月

〇・三二秒

終期微動

六分二七秒

月

11

月

報告者住所姓名

國 郡

村 町

番地



明治四十二年 第五十四號

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年九月三十日午後一時。六分十九秒

秒ノ震
ヲ終動
記マノ
ステ初
ヘノヨ
シ時リ
及震
分動

四十秒

(地動計二據ル)

北東東南南
西北北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微（人体二感覺上）

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動先ニ聲響ナシ

地動計觀測

極微ノ地動ノ痕跡ヲ止ムノミ

記 雜

前項ニ洩レタルモルチノ
記入スヘシ

報告者住所姓名

國郡

村 町

番地



臺北

明治四十二年十月二日午前四時二十分十九秒

五分。六秒六。
(地動計二據心)

不詳

微
人
体
二
感
覺
十
三

上下動ニ聲御音ナシ

地動計觀測

八三秒

一分五八秒

三分二五秒

前項ニ洩レタルモルチ
記入スヘシ

番地



報
告

第五十七號

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年十月三日午前九時十三分三十秒

震動ノ終マノ初ヨリ及分
秒ヲ記ステヘシ

不詳

西北東北
分記スヘシ
西北東北
西東
ノ南
ハ方
シ位

不詳

微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微
(人体二感覺志)

水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ

上下動先ニ聲響ナシ

前項ニ洩タルモルチノ
記入スヘシ

報告者住所姓名

國郡

村 町

番地



地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年十月三日午前九時三十九分十九秒

震動ノ初ヨリ震動
終マノ初ヨリ震動
秒ヲ記ステヘシ及分

三分二十三秒
(地動計二據)

北北東東南東南南
西北北西ノ八方位
二分記スヘシ

不詳

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微
（入体ニ感覺ナシ）

水平動、上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動先二聲御音ナシ

地動計觀測

初期微動

一九秒

平均週期 二秒 最大振幅

主要動

一分三秒

月
一四秒
月

九
二
粒

終期微動

分四秒

1

報告者住所姓名

國郡

村 町

番地



明治四十二年 第五十九號

臺北

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年十月六日午前六時四十四分二十二秒

秒ノ震
ヲ終動
記マノ
ステ初
ヘノヨ
シ時リ
及震
分動

一分十秒 地動計二據ル

西北東北
分西北東
記北西東
スノ東南
ヘ八東南
シ八方
位

不詳

微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微
人
体
二
感
覺
ナ
シ

水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動先二聲郷音ナシ

地動計六僅ニ其痕跡ヲ止ルノミ

前項ニ洩レタルモルチノ
記入スヘシ

報告者住所姓名

國郡

村 町

番地



地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名

地震報告

明治四十二年 第六十一號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記	報告者住所姓名
地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ及分 秒ヲ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	北東東南西南 西北北西ノ八方位 ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	地動計ニ稍緩慢ナル地動ノ痕跡ヲ止ムルノミ	國郡 町村 番地
臺北	明治四十二年十月七日午後零時三十八分十一秒	二分三十秒	不詳	微(人体ニ感覺ナシ)	上下動并ニ聲響有ナシ		



地震ニ感セシ地名

臺北

地震報告

明治四十二年

第一一號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日時

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年十月七日午後七時十九分二十二秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
秒ヲ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

九分十二秒

震動方向

北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微
(家屋動揺ス)

震動性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

微少ナル上下動ノ波動ヲ示シ聲響有ナシ

雜記

前項ニ洩レタルモ
ルヲシヘス入記

地動計觀測

初期微動

一二秒

主要動

一分三秒

平均週期一四秒最大振幅二點

終期微動

七分二秒

報告者住所姓名

國郡

町村

番地

臺灣總督府臺北測候所印

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

十月九日午前十時三十九分十八秒

秒ノ震
ヲ終動
記マノ
ステ初
ヘノヨ
シ時リ
及震
分動

一分三秒 (地動計板)

西北東北
西西北東
分記スヘシ
八方位

不詳

微、弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微（人体感覺）

水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動を二声知す

地動計ニ性質急ナル地動、痕跡ヲ止ム、

前項ニ洩レタルモルチノ
記入スヘシ

報告者住所姓名

國郡

村 町

番地



地震報告

明治四十二年 第六十三號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	震動ノ年月日時 年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	震動ノ時間 震動ノ初ヨリ震動 秒ヲ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	震動ノ方向 北北東東南南 西西北西ノ八方位 ニ分記スヘシ	震動ノ強弱 微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	震動ノ性質 水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	雜記 項前ニ洩タルモ ルヲシヘス入記
臺北		明治三十四年十月十四日午後十時五十七分〇三秒	三分〇五秒 (地動計、見)	不詳	微(人作、感覺アリ)	上下動無、聲響有ナシ	地動計、観測 初キ微動 一五九秒 主キ要動 三九四秒 終期微動 三分〇九七秒 平均週期 二二秒 最大振幅 〇、一七耗

報告者住所姓名

國郡

村 町

番地

荒測候所

山
谷
地震ニ關スル觀察
臺灣

四五
地震ニ關スル觀察
臺灣

地震計観測（東西動）

初期微動二七秒後主要動に移り急激に振幅が増大し器械に象線が（八秒内外）
以上振幅の現象紙上に描く奇に秒間三三秒に描針の全記録紙外へ
逸出し以下三分三六秒間、現象の欠き初震より六分六秒間、震動
著明に漸次微動となり、總震動時間約四十五分なり

強震計観測

初震より一秒三三秒水年動り方向東南東より西に西三回と全週期一五秒に
付キ五秒に概（四秒五分八分）最大振幅（最大加速波毎秒四九秒）に達し
尚ハ八秒間、震動著明なり其より漸次微動となり總震動時間約三分
三三秒静止、上下動、初震より四秒後全週期八秒時付一〇八秒
（四秒五分八分）最大に達し尚ハ八秒後三秒間、著明に震動あり
其より漸次微動となり静止

臺灣總督府

何如

策六十 五 觀

臺北

明治四十二年十月二十日午後三時三十分至六時

約書四十五

地動計二

南東一北西

強弱方

上下ありしを聲稱する

雜記

前項二流タレモルナシ

記入ヘスシ

並其國地廣可欲則、水手新く縮忽ち初群然所、即一五分ノ於重要方今ハ、
増大し其方ニ改目、於テ南東ヨリ此西ニ向セセ、器械ノ現象能方三十秒内外、振幅ヲ示
し其レ約九折間、強ク下之上同様ト振動ヲ继续せん其最太知能、不尙出其後約
三十秒間、震動著明ナリト漸次微小ナルヲ三十分(初夜ヨリ)後靜止ス
上下動ニ同ク縮忽ち微弱ニ初一三秒、復色ニ振幅ヲ増大し初上ノ下ノ向七九三秒
由尺五分、振幅ヲ示し更ノ下ノ上ノ向七八秒時キ一三五秒(四尺四分一毫)最大
ニ達し尚十十五秒間、震動著明ナリカ其レ漸次微小ナリテ靜止ス

總督

番地
北
湖
候





地震報告

明治四十二年 第六十五號

地名 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
臺北

年月日時 年月日時及分秒ヲ
 記スヘシ(標準時)
明治四十二年十月廿三日午後五時五十四分三十七秒

震動ノ時間 震動ノ初ヨリ震動ノ終マデノ時及分秒ヲ記スヘシ
1

震動ノ方向 北北東東南南西北西ノ八方位ニ分記スヘシ
1

震動ノ強弱 微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ
微(人作ニ感ぜられ)

震動ノ性質 水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
上下動並ニ聲響アリ

雜項前記
 前記ニ洩タルモノヲシヘス
僅リニ細微ナル波動、振動アリセルノミ

報告者住所姓名
 國 郡 村町
 番地
臺北測候所



臺北

明倫彙編
家範典
卷一百一十五

二命五十一行八

地勢計二見

不詳

微人作感世久ナニ

上下動聲即音ナシ

北動計能測

初期微病

主
要
功

終期微言

細微尤波線ヲ示スミシテ以上ノ外長大振幅通過ナルヲ知ルベシ

文に能く不

記 雜

モルタレ洩ニ巧
シヘス入記

番地

台北測候所

此
震
實ニ感セシ地名

地震報告

明治四十二年 第六十七號

地名 地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ
臺北

年月日 年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)
明治四十二年十月八日午前十時五十九分五十三秒

震動ノ時間 震動ノ初ヨリ及分秒
ノ終マテノ時及分
一分七三秒
(地動計三見)

震動ノ方向 北北東東南東南南
西北北西ノ八方位
不詳

震動ノ強弱 微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ
微一人作ニ感覺ナシ

震動ノ性質 水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ
上下動聲響覺ナシ

雜記 前項ニ洩タルモルヲ
シヘス入記
地動計観測
初期微動 七六秒
主要動 一五六秒
終期微動 四〇一秒
地動計観測所

報告者住所姓名 國 郡 村町 番地 臺北 測候所





此
震
實ニ恐ナル也

地
震
報
告
明治四十二年 第八號

地名
地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ
臺北

年月日
年月日時及分秒ナ
記スヘシ(標準時)
明治四十二年十月十二日午後十時三十分六秒

震動ノ
震動ノ初ヨリ震動
秒ヲ終マテノ時及分
三十分六秒
(地動計ニヨル)

震動ノ
北北東東南南
西西北西ノ八方位
不詳

震動ノ
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ
微(人作ノ感覺ナシ)

震動ノ
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ
上下動並ノ聲響ナシ

雜
記
前項ニ洩タルモル
シヘス入記
地動計觀測
初期微動 一三〇秒
主要動 五三〇秒
終期微動 六六六秒
平均周期 廿六秒
最大振幅 〇・五尺

報告者住所姓名
國 郡
村 町
番地 臺北測候所

